

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：土木費 項：土木管理費 目：建設業指導監督費

<b>事業名</b>	<b>オール岐阜・企業フェス開催事業費</b>
------------	-------------------------

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県土整備部 技術検査課 建設人材育成係 電話番号：058-272-1111(内 2293)

E-mail：[c11656@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11656@pref.gifu.lg.jp)

**1 事業費**                                    **5,826千円** (前年度予算額：6,111千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,111	3,008	0	0	0	0	0	0	3,103
要求額	5,826	2,864	0	0	0	0	0	0	2,962
決定額	5,826	2,864	0	0	0	0	0	0	2,962

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

地域防災力の要として重要な役割を担っている建設業では、就労者の高齢化により、今後10年間で大量の離職が見込まれ、将来の担い手不足が懸念されている。

若年入職者の確保のためには、県内高校・大学への進学者を、県内企業への就職に繋げ、また、県外へ進学した者を県内に呼び戻すことが不可欠であり、県内企業に対する学生の理解を深めることが課題となっている。

### (2) 事業内容

新型コロナウイルスの感染症の影響により、企業の採用活動、学生等の就職活動は大きな影響を受けており、特に中小企業にとっては、就職活動がWeb中心になったこともあり就職希望者との接点が減少傾向にあり、県内中小企業でもWebを有効活用し、人材を確保していく必要がある。そのため、県下最大規模のWebを活用した「合同企業フェア」を開催することで、県内企業と県内外の若い世代の交流機会を確保し、学生の県内定着に繋げるものとする。

参加企業：企業４００社程度（うち建設関連企業５０社程度）を想定  
対象者：県内外の高校生・大学生等

### （３）県負担・補助率の考え方

地域雇用や地域社会インフラ保全の観点からも県内建設産業の健全な発展は県の最重要課題として対応する必要がある、県負担は妥当。

### （４）類似事業の有無

無

## ３ 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	97	費用弁償、業務旅費等
委託料	5,729	オール岐阜・企業フェス開催事業
合計	5,826	

## 決定額の考え方

## ４ 参考事項

### （１）各種計画での位置づけ

- ・創生総合戦略  
３ 地域にあふれる魅力と活力づくり

### （２）次世代を見据えた産業の振興

#### ①産業を支える人材の育成

（建設・建築分野）

- ・「ぎふ建設人材育成リーディング企業認定制度」の対象業種を拡大するほか、「建設ICT人材育成センター」において建設分野におけるICT技術を活用する人材の育成・確保を推進する。

### （２）事業主体及びその妥当性

「ぎふ建設人材育成・確保連携協議会」は、県内の建設人材を育成・確保するため、建設業界・教育界・県が一体となって取り組むものであり、プロジェクトを効果的に推進するため、会員の負担金によらない「関連事業」の経費を負担する事は妥当だと考えられる。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 県内建設業者への就職を促進するため、県内高校・大学進学者等の県内企業への理解を深める。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
オール岐阜・企業フェス来場者数	2,233人 (H29)	2,011人 (H30)	2,764人 (R1)	(R2)	3,000人 (R3)	92.1%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
 <令和2年度>  
 令和2年1～3月 WEB開催  
 出展企業数 全体400社（うち建設関連50社）※目標値  
 来場者数 5,000人 ※目標値

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
 県内建設業者が人材確保に向け、企業の魅力発信の機会を設ける事は非常に重要である。  
 県内学生がこれだけ大規模に参加するイベントは無く、建設業の魅力を発信する場としても貴重な機会であるため、フェスに対する「ぎふ建設人材育成・確保連携協議会」会員企業からの期待も高い。  
 この取組みを継続することにより、学生が県内企業の魅力に触れる機会が確保できるため、県内での就職促進が見込まれる。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</p>	
(評価)  ○	県内企業の人材確保や県内人材の県外流出の防止、県外からの人材獲得のため、効果的に企業の魅力を発信することができる本事業の必要性は高い。
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)  ○	イベントを通じた魅力発信に対する企業の期待も高く、事業へのニーズは高い。また、県内大学、高校等とも連携し、多くの学生の参加も見込まれるなど、企業研究の場としても有効性は高い。
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</p>	
(評価)  ○	「ぎふ建設人材育成・確保連携協議会」と連携した企業への周知や建設業の魅力発信を図るなど、効率的・効果的に実施している。

### (今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 「ぎふ建設人材育成・確保連携協議会」においてより効果的な事業となるよう議論を行い、随時改善を検討する必要がある。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 事業の実施にあたっては、学生や企業のニーズを踏まえ、大学や建設業界（企業）とも密に連携を取りながら実施する。</p>
---

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	オール岐阜・企業フェス開催事業費 【産業人材課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	産業人材課が実施主体である県内最大規模のプレ就活イベント「オール岐阜・企業フェス」に建設産業として参画することにより、単独でのイベント開催よりも多くの学生等に魅力を発信することができる。